

農業者向けセミナー

あなたの町にタンチョウが来たら ～その対応と、いきものブランド米という選択肢～

道東に生息地が集中していたタンチョウは、道央や道北に徐々に分散する傾向にあります。農地へタンチョウが飛来した時などの対応に加え、いきものと共生する農法を選ぶことで生産物に付加価値をつけた最近の事例についてもお話しいたします。



長沼町の農地に飛来したタンチョウ

日時 平成30年12月18日(火)14:00～15:30
会場 まなみ一岩見沢市民会館 多目的室2
(岩見沢市9条西4丁目)
定員 40名 (先着順、定員になり次第締切り)
対象 空知管内の農業者 及び 自治体職員
参加費 無料
主催 環境省北海道地方環境事務所

I. タンチョウについて

基本的な生態と保護増殖事業の取組

環境省北海道地方環境事務所野生生物課課長補佐 小田嶋 仁 氏

II. 長沼町でのタンチョウ飛来とその影響

飛来による地域の変化と、農業者のタンチョウを守る取組

農家 舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会 会長 加藤 幸一 氏

III. いきものに配慮した農作物のブランド化について

ブランド米の流通や消費者の動向

小池精米店店主 お米マイスター五ツ星 小池 理雄 氏

〔登壇者〕

長沼町 舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会
加藤 幸一 氏

「タンチョウが暮らせるまちづくりは、農業地帯である地域の活性化につながる」との考えのもと、千歳川遊水地群の一つである舞鶴遊水地において農業者を中心に結成された「舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会」の2代目会長。今年、タンチョウが約半年ものあいだ遊水地で確認され、定着が期待されている。



小池精米店店主 お米マイスター五ツ星
小池 理雄 氏

原宿・表参道に三代続く精米店店主。高品質・安全・安心、そこにプラスして魅力をもった米を厳選して食卓に届け、様々なイベント・セミナー・マスメディア等でも活躍中。稲作文化を継承するために、農家・飲食店・企業とも積極的に交流しながら、時代に即したお米の可能性を探索している。



参加申込み

①お名前 ②ご所属 ③ご連絡先(電話またはFAX)をメール・FAX・郵便のいずれかにて右記申込み先へ平成30年12月10日(月)までにお知らせください。

〔お申込み・お問い合わせ〕

(公財)日本生態系協会 担当:小田

※北海道地方環境事務所業務請負者

住所:東京都豊島区西池袋2-30-20 音羽ビル

TEL:03-5951-0244 FAX:03-5951-2974

E-mail tancho@ecosys.or.jp

※お申込みのためにいただいた個人情報、本セミナー以外には使用いたしません。

